

平成22年度 長野市陸上競技協会主要競技日程

Table with columns: 月, 日付(曜日), 回, 競技会, 会場. Contains schedule for April, May, June, July, and August.

Table with columns: 月, 日付(曜日), 回, 競技会, 会場. Contains schedule for April, May, June, July, August, and September.

編集後記

松本山雅FCが今季、県勢で初めて3月に開幕する日本フットボールリーグ(JFL)への参戦を決め、長年の夢であった昇格を実現しています。

この要因は、選手や関係者のがむしゃらな取り組みと熱心な応援を日々送り続けてくれたサポーターや地域の方々の支援・協力によるものです。

このように指導者をはじめ、競技会の運営に携わる審判員や家族の皆様からの

支えは、競技者にとって大変心強く、選手自身が自分を高める大きな力となっています。

今後も地元から多くのトップアスリートが輩出され、国内外の大会で活躍できるよう後押しできればと考えています。

いよいよ本年度のシーズンを迎えます。選手・審判員ともに、がむしゃらに努力を続けて自らの夢への昇格を実現してほしいと思います。 広報部長 田島康彦

SHINANO MATE logo and illustration of a runner. Text: ATHLETIC UNIFORM, しなのメイト 株式会社, 〒389-0606 埴科郡坂城町大字上五明992-2



題字の“動き”は長野市陸協三代目会長 山浦保氏の書で、山浦会長の頃、市陸協会報紙として何号か発行されていました。

発行所 長野市陸上競技協会
発行人 内山了治
編集人 田島康彦

長野市陸協名誉会長に小坂憲次氏就任

H21年度長野市陸協総会において、市陸協規約が改正されたことに伴い、初代名誉会長に小坂憲次長野陸協会会長が就任された。

総会の席上、小坂新名誉会長からは、文部科学大臣兼国民スポーツ担当大臣として、スポーツ・文化や科学技術振興および予算の充実を果たされたご経験を踏まえ、長野お

よび長野市陸上競技協会発展のために力強いご挨拶を頂いた。

既に、昨年11月には、陸上競技場改修の件で驚沢長野市長陳情の先導をして頂き、今回の改修の運びとなった。



平成22年度のスタートにあたり

長野市陸上競技協会 理事長 内山了治(長野高専)

H21は何も分からないままダッシュしました。理解できたことはこれまで何気なく参加していた行事や各種競技会は、各方面から多大なお力添えを賜り成り立っているということです。企業や事業主の皆様、長野市教育委員会の方々、(財)長野市体育協会様、競技場を支えて頂いているシンコースポーツ(株)の皆様方そして会員の皆様様に改めて感謝申し上げます。3月提出締め切りの書類も皆さんのご協力によりまとまり、お陰様で何とか2年目に入ることが出来ました。

H22年度は、計画性と早めの対応を心掛け、前伊藤会長一浦野理事長の路線を寺島会長とともに推し進めたい所存ですので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆様には、H21長野陸協評議員会の資料、長野市陸協総会資料を同封しましたのでご高覧下さい。

これらの資料からもわかるように、市陸協運営上の大きな課題として、会員の稼働率が低いことがあげられます。長野市陸協は125名の会員登録者からなり県内では最大の支部となっていますが、競技会参加会員数は全体の50%に届いていません。競技会における審判員総数は、県的な大会で80名から120名、小規模な大会でも50名くらいは必要です。効率的な審判員配置による人員および経費削減は今の時代必須ですが、それでも陸上競技大会は多人数が必要となります。さらに大会数が増加し、5-6月と9-10月は毎週続くため、多くの会員のご協力が必要となります。大会どころではない状況の方もいらっしゃるかと思いますが、若きアスリートのために万難を排してご協力頂ければ幸いです。また、出席不可能でも意向調査の返信はお願い致します。西内審判部長も大変悩み心を痛めております。

2番目の課題は、陸上競技場改修です。「公認が必要か」「第2種競技場でも良いのでは」という行政側の問いかけに的確に対応しなければなりません。前述したように、昨年11月に小坂長野陸協会会長、伊藤副会長、寺島会長、村田総務部長と私で市長に陳情に伺いました。一定のご理解を頂き、第1種継続公認の方向で改修を進めていただける見通しです。現補助競技場を、第1種の要件である第3種全天候型補助競技場へ改修することは費用が高み実現困難となりましたが、メイン競技場の1~9レーン全面、フィールド関係および雨天走路のオーバーレイ、危険箇所の修理、投擲・ハードルを中心とした用具の整備補充など多額の予算を計上して頂いて居ります。

日程的には、3月の市議会で承認され4月から設計に入り、10月から3月までが工事期間となるということです。10月中およびキッズラン予備日までは、使用を優先させていただけることになっています。その後の使用可否は工事の進捗状況に関連しますので、今は明確にはなりません。一時的にご不便をお掛けすることになるかと思いますが、ご協力の程お願い申し上げます。

最後になりますが、強化費に見合う目に見えた成果をあげることも大きな課題となります。小中高の先生方を中心に熱心にご指導され、成果も高まっています。しかしながら、個人の指導力に寄る所が大きく、市陸協の組織としての強化策実行が不十分かと思っております。この点に関しても計画的な対策を試みたいと思っております。以上の課題を解決するポイントは、明確な目標設定と計画の妥当性、そして何より会員の皆様のお力添えにあると思っております。本年度もよろしくお願い致します。

沖縄高校総体に向けて好スタート ー日本ジュニア室内ー

深澤君：三段跳2位、太田君：60mH5位

2010日中ジュニア・日本ジュニア室内陸上競技大阪大会が大阪城ホールにて2月10～11日に開催された。市内からは4名が出場し、それぞれ開幕戦を好発進した。

深澤 宏之君 (松代高2) 三段跳 2位 14m92
太田 和彰君 (松代高2) 60mH 5位 8秒35
田中 美沙さん (長野吉田高2) 60m 予選3着 7秒83
小平 亜湖さん (長野吉田高2) 60mH 予選4着 9秒18

研修&懇談会 開催

平成21年度 長野市陸上競技協会 研修及び親睦会
平成22年2月6日(土)～7日(日)
場所：信州高山温泉郷「平野屋」



H21年度の研修会及び親睦会が、大雪の中、山田温泉平野屋において13名が参加し開催された。

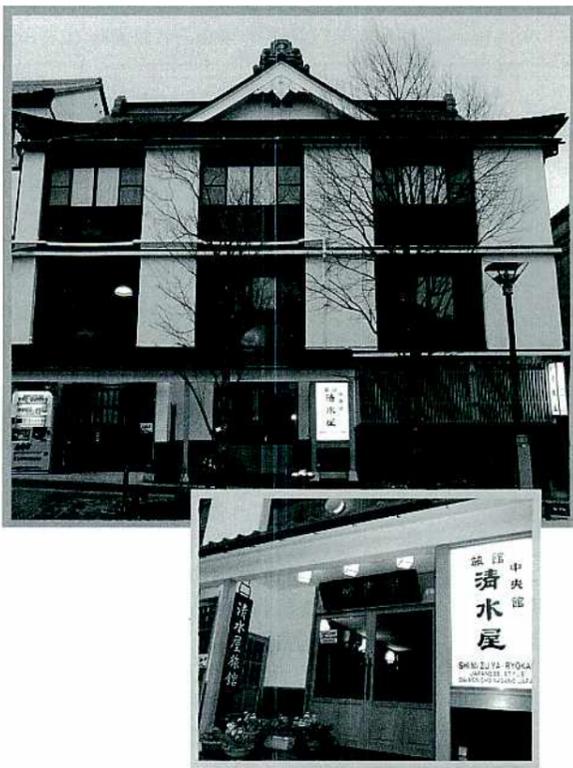
まず研修会として、改修を控えた市営陸上競技場を中心に、工学的な見地から施設、トラックサーフェス及び用器具全般について内山理事長が発表し、将来に向けた提案・意見交換を行った。

頭を使ったあとはゆっくり温泉を楽しみ、W-upをしっかり行い懇親会の部へ。ここでは寺島会長のお計らいによるスペシャルゲストを交え、陸上競技を中心とした様々な話題で盛り上がった。その後も降り雪と同様に深々と朝まで飲み語り合うグループもあるなど、くつろぎと充実を併せ持つ有意義な研修会となった。



1枚の写真

いつもお世話になっている中央館清水屋旅館様がリニューアル(H21/12月)



第21回 ホープさん

「私の支え」

長野高校2年 中村 早

私が陸上競技を始めてから5年が経ちます。そんな中で何度も故障や貧血などで思うように走れない時がありました。特に高校に入学してからは、勉強と陸上の両立が思った以上で大変で、毎日のハードな生活に長く耐えられず、精神的に苦しくなり、それが競技に出てしまうことが何度かありました。

その度に、自分は本当に弱い人であることを痛感してきました。しかし、そんな時に私を奮い立たせて下さる方がたくさんいます。

私の中学の時からの恩師は、自分のチームの育成でどんなに大変な時期でも私を気にかけて電話を下さったり、練習を見て下さいます。親も、貧血にな

らないように、どんなに疲れていても栄養豊富な食事を作って下さいます。また、私の知らない方も私に声をかけて下さる方がいます。このように周りの大きな応援が、私の支えです。

それだけではなく、全国都道府県対抗女子駅伝などの大きな舞台での経験や、私を走らせて下さった監督の思いや、駅伝に向けて目標を共にして頑張った仲間のことを考えると、頑張らなくてはという思いになります。

進路実現のため、走ってられる時間は残りわずかですが、私を支えて下さる多くの人に恩返しができるよう、感謝の気持ちを忘れず練習していきます。

第12回長野マラソンを迎えるにあたって

長野マラソン事務局 伊藤利博

12回大会から、視覚障害者の部を新たに加え、伴走者と共に協力しながら走る姿が見られる反面、運営面では、大変な部分もあるかと思っています。この長野マラソンを盛り上げていただいている、ボランティアの皆様方の力も大きなものがありまして、ボランティアと一致協力していく事が大切だと思います。

今年は過去最高の8500余名のエントリーがされており、全国から参加される選手達が、「今年も素晴らしい大会であった」といわれるように、皆様と力を合わせて、成功のためにご協力をいただけるよう、よろしくお願ひ申し上げます。

12回目を迎える長野マラソンは、皆様方のご協力を得て、準備が進められています。市陸協会の80%が、大会運営に携わっております。特に市陸協の皆様方には、重要なポジションを担っていただき、毎回早朝よりテキパキと任務をこなしていただき、ありがたく、感謝の気持ちで一杯です。

大会を迎えるまでの準備は、かなりエネルギーを要しますが、市陸協の運営委員の皆様には、12月から毎週集まっていたいただき、競技マニュアルの作成、昨年の反省に基づく改善点等の論議を重ねて、一步一步進化した大会に成長して来ていると思っています。

第100回記念長野市内高校陸上競技大会

永らく絶えることなく続けてまいりました長野市内高校陸上競技大会も、本年100回を迎える事となり、大会関係者として大変な栄誉と感じています。

また歴代の諸先輩方により樹立された記録及び歴史をけがすことなく、成功裏に大会を成し遂げるよう、精一杯努力したいと思います。

- *平成22年5月1日(土)
 - 【講演会】講師 エスピー食品陸上競技部 田幸寛史氏(予定)
 - 【祝賀会】招待者・関係者・長野市陸協関係者
- *平成22年5月2日(日)
 - 【大会】招待選手の招聘(長野県内優秀選手)
 - 【記念誌】発行部数500冊(沿革・記録集・写真等)
- *平成22年5月末日

第12回 全国小学生クロスカントリリーリレー研修大会

2010年3月21日(日)大阪府万博記念公園内特設コース
結果12位(50チーム出場)32分47秒

松木 之衣

小林 美帆

「位置について・ドンッ」
第1区が芝生を一斉に駆けぬけた。僕達がここまでこられたのは、昨年の夏、白馬の駅伝で全国の切符を手にしてから始まった。つらい練習や努力をして、1秒でも速く走れるように粘り、そしてチームワークを高めることを大切に走ってきた。

第1区がスタートして4分後、僕の心は、不安と緊張で碎け散りそうだった。時間が1秒過ぎるごとにプレッシャーが増していく。

ついに、第1区から僕は、たすきをもらい、広い芝生へ向かって走って行った。僕は、とにかく前の人を目標にして走り、ラスト500m。スパートをかけ、全力疾走。でも最後、粘ることができなくて、めかされてしまった。

改めて全国の壁の高さを感じた。でも、この悔しさと経験を生かしてがんばりたい。

7月に全国大会出場が決まってから、3月の全国大会に向けて、一生けん命練習をしてきました。

そして、いよいよ全国大会です。私は1区を任されました。私の心には、全国大会というワクワク感と、緊張がありました。

そして、いよいよスタートです。私は、3位ぐらいで飛び出しましたが、すぐに集団にのみこまれてしまいました。しかし、後半、少しずつ順位を上げていき、14位でたすきを渡しました。その後のみんなが、コツコツと順位を上げていき、総合順位は12位でした。

みんなで力を合わせてがんばりましたが、8位入賞を目指していたので、とてもよかったです。

私は、全国大会を通して、全国のレベルとスタートの位置取りの大切さを知りました。

- 出場チーム
「川中島ジュニアランニングクラブ」
監督：竹内万祐 コーチ：玉城さつき
選手：1.5km×6区間(走順)
1. 小林美帆(青木島6)
 2. 松木之衣(共和6)
 3. 新原徳子(山王6)
 4. 根津康熙(三本柳6)
 5. 西本梨花(南部6)
 6. 丸山和輝(共和6)
- 欠 小林海仁(下氷飽5)
竹内美翔(川中島5)

